

海の博物館の取り組みを紹介します

市立海の博物館 ☎ 326006

令和元年度の取り組みのふりかえり

企画展などを開催

衣装という切り口から見た漁村の暮らしや一本釣りで栄えた坂手島の様子を伝える企画展を開催し、市内からも多くのかたに足を運んでいただきました。(企画展「坂手島」については展示を4月12日(日)まで延長します)

また、ギャラリーでは編み物で作った海の生き物作品展や三重大学海女研究センターとの共催で昭和の海女の写真展を開催しました。



学習の場として

市内小学校の5年生が漁業と海洋環境を学ぶ一環で、本市の漁法の1つである海女について学びました。秋には博物館でウォークラリーを実施し、映像や実物資料を見学しながら、自然とともに生きる海女について理解を深めました。



令和2年度春から初夏の企画

企画展

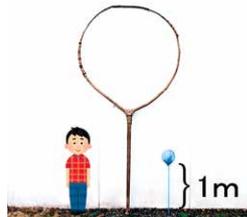
「くらべてビックリ!

海のなかの大きなモノと小さなモノ

海の生きものや漁具について、模型や標本などを使って、大きなものと小さなものを対比的に見せます。

海の生物の多様性や、鳥羽の漁業の歴史や道具に見られる漁師の知恵などについて学べます。

と き 4月18日(土) ~7月12日(日)



ギャラリー企画展 「青の造形~中央構造線上の漁村空間」

中央構造線上に位置し、青石(緑色片岩)で空間が創られている鳥羽市の離島、和歌山市和歌浦湾域、愛媛県伊方町の3地域を建築学の側面から紹介します。青石の作り出す漁村の街並みや路地、石垣、民家などを模型や図面、スケッチなどで展示します。

青石の使われ方やそれぞれの漁村の魅力をお楽しみください。

と き 4月11日(土) ~7月5日(日)



なお、期間中、今後の漁村のまちづくりに関する講演会などを予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、多数のかたが一堂に集まるイベントは中止させていただき、企画展のみ開催します。

すでにポスターやチラシなどで案内をしておりますが、注意してください。
~中止となったイベント~

- ・4月11日(土) 講演会「建築の翻訳力~建築と漁村空間」
- ・4月18日(土) 学術座談会「漁村の展開力(若手編)」
- ・4月19日(日) 講演会「漁村空間の慣性力~鳥羽の離島」
- ・5月9日(土) 学術講演会「漁村の展開力(学術編)」
- ・5月17日(日) まち歩き座談会「漁村の展開力(まちづくり編)」

体験メニュー

「ワカメとヒジキ 刈り取ってみよう」

地元漁協の協力により、ワカメ・ヒジキの刈り取りを行います。茹でたてを味わうほか、後日、事業所で加工してもらい、参加者へ郵送します。

と き 4月26日(日) 正午~午後3時

と ころ 市立海の博物館入口集合

定 員 20人(小学生以上)

※事前に申し込んでください。

参加費 1,200円(入館料込み)



「世界一小さいイカをつかまえよう ~アマモ場の生き物観察会~」

と き 5月9日(土) 正午~午後2時30分

と ころ 市立海の博物館入口集合

定 員 20人(小学生以上)※事前に申し込んでください。

参加費 1,200円(入館料込み)

「アメフラシをつかもう」

と き 5月24日(日) 午前11時30分~午後3時

と ころ 市立海の博物館入口集合

定 員 20人(小学生以上)※事前に申し込んでください。

参加費 1,200円(入館料込み)

各種クラフト体験

週末やゴールデンウィーク中は「ジェルキャンドル」「海藻ストラップ」の制作体験(有料)を実施します。

※今後、新型コロナウイルス感染症の発症状況により、予定を変更する場合があります。くわしくは、海の博物館ホームページをご覧ください。